

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 60-221338

(43)Date of publication of application : 06.11.1985

(51)Int.Cl.	C03C 3/068
	C03C 3/072
	C03C 3/095
	C03C 3/097
	C03C 3/108
	C03C 3/115
	C03C 3/15
	C03C 3/19
	C03C 3/23
	C03C 4/00

(21)Application number : 59-074559

(71)Applicant : OHARA INC

(22)Date of filing : 12.04.1984

(72)Inventor : INOUE SATOSHI

(54) OPTICAL GLASS

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain optical glass causing hardly devitrification, having high hot- formability and low transition point by composing a special compsn. consisting of B₂O₃-La₂O₃-Y₂O₃-R₁IO-Li₂O system glass.

CONSTITUTION: The optical glass consists of by wt% 1W50 B₂O₃, 0W45 SiO₂, 20W60 B₂O₃+SiO₂, 1W52 La₂O₃, 0.1W20 Y₂O₃, 0W15 MgO, 0W30 CaO, 0W40 SrO, 0W50 BaO, 0W40 ZnO, 0W30 PbO, 1W60 MgO+CaO+SrO+BaO+ZnO+ PbO, 0.5W15 Li₂O, each 0W10 ZrO₂, and Na₂O+K₂O+Cs₂O, each 0W30 Nb₂O₅ and Ta₂O₅, each 0W20 WO₃, GeO₂, HfO₂, Ca₂O₃, In₂O₃, TiO₂, each 0W15 Al₂O₃ and P₂O₅, 0W35 Gd₂O₃, 0W2 As₂O₃ and/or Sb₂O₃, and 0W2 (expressed in terms of F) fluoride replacing a part or whole of at least one oxide of above-described metal elements. The optical glass has 1.62W1.85 refractive index and 35W65 Abbe's number.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁 (J P)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭60-221338

⑮ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)11月6日

C 03 C

3/068
3/072
3/095
3/097
3/108
3/115
3/15
3/19
3/23
4/00

6674-4G
6674-4G
6674-4G
6674-4G
6674-4G
6674-4G
6674-4G
6674-4G
6674-4G
6674-4G

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

⑭ 発明の名称 光学ガラス

⑯ 特 願 昭59-74559

⑰ 出 願 昭59(1984)4月12日

⑱ 発 明 者 井 上 敏

相模原市上溝3125-13

⑲ 出 願 人 株式会社 小原光学硝
子製造所

相模原市小山1丁目15番30号

明 細 書

1. 発明の名称 光学ガラス

2. 特許請求の範囲

(1) 重量%で、 B_2O_3 1~50%、 SiO_2 0~45%
ただし、 $B_2O_3 + SiO_2$ 20~60%、 La_2O_3 1~52%、
 Y_2O_3 0.1~20%、 MgO 0~15%、 CaO 0~30%、
 SrO 0~40%、 BaO 0~50%、 ZnO 0~40%、
 PbO 0~30%、ただし、 $MgO + CaO + SrO + BaO$
 $+ ZnO + PbO$ 1~60%、 Li_2O 0.5~15%、
 ZrO_2 0~10%、 Nb_2O_5 0~30%、 WO_3 0~20%、
 Al_2O_3 0~15%、 GeO_2 0~20%、 HfO_2 0~20%、
 Ta_2O_5 0~30%、 Gd_2O_3 0~35%、 Co_2O_3 0~20%、
 In_2O_3 0~20%、 P_2O_5 0~15%、 TiO_2 0~20%、
 $Na_2O + K_2O + Cs_2O$ 0~10%、 As_2O_3
および/または Sb_2O_3 0~2%および上記各金
属元素の1種または2種以上の酸化物の1部または
は全部と置換した非化物のFとしての合計 0~20%
を含有することを特徴とする光学ガラス。

(2) La_2O_3 が 1~45%であることを特徴とする

特許請求の範囲第1項記載の光学ガラス。

(3) Li_2O が 1.1~15%であることを特徴とする
特許請求の範囲第1項ないし第2項のいずれかに
記載の光学ガラス。

(4) $MgO + CaO + SrO + BaO + ZnO + PbO$ が
5.1~60%であることを特徴とする特許請求の範
囲第1項ないし第3項のいずれかに記載の光学ガ
ラス。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、屈折率 (n_d) = 1.62 ~ 1.85、
アッペ数 (V_d) = 35 ~ 65 の範囲の光学恒数
と優れた耐失透性とを維持させつつ、低転移温度
特性を付与して熱間成形性を改善した新規な光学
ガラスに関する。

従来から、上記光学恒数を有する光学ガラスと
しては、 B_2O_3 および La_2O_3 を主成分とした種々の
ガラスが知られている。たとえば、 $B_2O_3 - SiO_2 -$
 $La_2O_3 - BaO - ZrO_2$ 系、 $B_2O_3 - La_2O_3 - Gd_2O_3 -$
 $R^{II}O$ および/または Al_2O_3 系 ($R^{II}O$ = 2価金属酸
化物)、 $B_2O_3 - SiO_2 - La_2O_3 - Y_2O_3 - ZrO_2 -$

Ta₂O₅ 系および B₂O₃ - SiO₂ - La₂O₃ - Y₂O₃ - ZrO₂ - ZnO系等のガラスが、それぞれ特開昭 51-34914 号、特開昭48-61517号、特公昭52-48609号および特開昭55-116641 号等の各公報において提案されている。しかし、これらのガラスは、いずれも、有害成分の排除や耐失透性の改善等に重点がおかれているだけであり、熱間成形性の改善については、配慮がまったくなされていない。このため、この種のガラスは、全般に転移温度（以下、T_gという）が高く、また高屈折低分散性の優れたものはこの傾向が強くみられる。そのうえ、これらのガラスのうち Gd₂O₃や Ta₂O₅を使用する系のものは、原料コストが非常に高く不利である。一般にT_gの値は、ガラスの熱間成形性の難易度を左右する大きな要因となっているが、酸化ガラスをプレス成形する場合、プレス金型は、T_g近傍の高温にさらされるため、ガラスのT_gが高いほどその表面が酸化や金属組織の変化等を生じて、急速に劣化し、寿命が短くなりやすい。上記問題点の解決手段として、金型の材料や構造等に関

する技術が知られているが、これらは、経済的不利を伴ないやすい。

そこで、所望の光学特性および耐失透性を維持しつつ、低T_g特性を付与して熱間成形性を改善したガラスが要望されている。

本発明は、上記の実状にかんがみてなされたもので、その目的は、屈折率（ n_d ）= 1.62~1.85、アッペ数（ ν_d ）= 35~65の範囲の光学恒数と大量生産し得るに十分な失透に対する安定性（耐失透性）とを維持させつつ、低T_g特性を付与した光学ガラスを提供することにある。

本発明者らは、上記目的を達成するため試験研究を重ねた結果、特定組成範囲の B₂O₃ - La₂O₃ - Y₂O₃ - R^{II}O - Li₂O 系において、上記所望の光学恒数と優れた耐失透性とを維持させつつ、一段と低いT_gを付与し得るガラスが存在することを見出し、本発明をなすに至った。

すなわち、本発明にかかる光学ガラスの組成の特徴は、特許請求の範囲に記載のとおり、重量%で、B₂O₃ 1~50%、SiO₂ 0~45%

ただし、B₂O₃ + SiO₂ 20~60%、La₂O₃ 1~52%、Y₂O₃ 0.1~20%、HfO 0~15%、CaO 0~30%、SrO 0~40%、BaO 0~50%、ZnO 0~40%、PbO 0~30%、ただし、HfO + CaO + SrO + BaO + ZnO + PbO 1~60%、Li₂O 0.5~15%、ZrO₂ 0~10%、Nb₂O₅ 0~30%、WO₃ 0~20%、Al₂O₃ 0~15%、CeO₂ 0~20%、HfO₂ 0~20%、Ta₂O₅ 0~30%、Gd₂O₃ 0~35%、Ce₂O₃ 0~20%、In₂O₃ 0~20%、P₂O₅ 0~15%、TiO₂ 0~20%、Na₂O + K₂O + Cs₂O 0~10%、As₂O₃ および/または Sb₂O₃ 0~2%および上記各金属元素の1種または2種以上の酸化物の1部または全部と置換した弗化物のFとしての合計 0~20%を含有することにある。

これを要するに、本発明による B₂O₃ - La₂O₃ - Y₂O₃ - R^{II}O - Li₂O 系ガラスは、上記目的達成に当り、B₂O₃ - La₂O₃ - R^{II}O 系ガラスに、種々の成分中、とくに Y₂O₃ および Li₂O の2成分を組合せ共存させることがきわめて重要であるという従来技術にない知見にもとづいて構成されている

点に特徴がある。

つぎに、上記のとおり、各成分の組成範囲を限定した理由について述べる。

本発明の光学ガラスにおいて、B₂O₃とSiO₂成分は、ガラス形成成分として働くが、そのうち、B₂O₃成分の量が、1%未満であるとガラスの失透傾向が増大し、また50%を超えるとB₂O₃成分の揮発により均質なガラスを得難くなる。また、SiO₂成分の量が、45%を超えるとSiO₂原料のガラス中への溶解性が悪化し、均質なガラスを得難くなる。さらに、B₂O₃成分とSiO₂成分の合計量は、ガラスの失透防止のため20%以上必要であり、このためB₂O₃の量が20%未満の場合は、SiO₂成分が必要となる。また、これらの成分の合計量が60%を超えると目標の光学恒数を維持できなくなる。

La₂O₃成分は、所期の光学恒数をガラスに与えるのに有効な成分であるが、1%未満では目標の光学恒数を維持しがたくなる。またLa₂O₃成分は、5%まで含有させることができるが、45%以下で

あると、一段と、耐失透性に優れたガラスが得られるので好ましい。 Y_2O_3 成分は、本発明のガラスにおいて、良好な耐失透性を維持しつつ、 Li_2O 成分の大幅な導入を可能にする効果があることをみいだすことができた重要な成分であるが、その量が、0.1%未満では、その効果が十分でなく、また、その量が20%を超えると、ガラスは逆に失透傾向が増大する。

HgO 、 CaO 、 SrO 、 BaO 、 ZnO および PbO の各成分は、ガラスの耐失透性や均質性を向上させる効果があるが、これらの成分のうち、 HgO および CaO は、それぞれ、15%および30%を超えるとガラスの失透傾向が増大し、また SrO 、 BaO 、 ZnO および PbO は、それぞれ40%、50%、40%および30%を超えるとガラスの化学的耐久性が悪化する。ただし、これら2価金属酸化物成分の上記諸効果を得るためには、これらの成分の1種または2種以上を合計量が少なくとも1%、好ましくは、5.1%以上含有させることが必要である。しかし、これらの成分の量が60%を超えるとガラスの化学

的耐久性が著しく悪化する。

Li_2O 成分は、前述のとおり、 Y_2O_3 成分との共存下において、ガラス中に広範囲に安定して含有させることができ、また、 T_g を著しく低下させることができるので、本発明のガラスにおいて重要な成分であるが、その量が0.5%以上であると上記の効果が顕著となるが、より十分な効果を得るためには、1.1%以上含有させることが好ましい。しかし、その量が15%を超えると失透傾向が増大する。

下記の成分は、本発明のガラスに不可欠ではないが、ガラスの光学恒数の調整、耐失透性または化学的耐久性等の改善のため、必要に応じ添加することができる。

すなわち、 ZrO_2 、 Nb_2O_5 、 WO_3 および Al_2O_3 の各成分は、ガラスの安定化や化学的耐久性向上のために有効であるが、これらの量が、それぞれ10%、30%、20%および15%を超えると、逆にガラスは失透しやすくなる。

GeO_2 、 HfO_2 、 Ta_2O_5 、 Gd_2O_3 、 Ce_2O_3 および

In_2O_3 の各成分は、ガラスを安定化させるのに有効であり、ガラスの諸特性を損なうことなく、それぞれ、20%、20%、30%、35%、20%および20%まで含有させることができる。

P_2O_5 成分は、ガラスに低分散特性を与える効果があるが、その量が15%を超えると失透傾向が著しく増大する。

TiO_2 成分は、ガラスの化学的耐久性を向上させるのに有効であり、20%まで含有させることができる。しかし、その量が多くなるとガラスが着色するので、光線透過性能の良好なガラスを得るためには9%以下が好ましい。

Na_2O 、 K_2O および Cs_2O の各成分は、いずれもガラスの均質化を促進する効果があるが、これらの成分の1種または2種以上の合計量が10%を超えると失透傾向が増大する。

As_2O_3 および/または Sb_2O_3 成分は、ガラスの脱泡剤として用いるが、これらの1種または2種以上の合計量が2%を超えると失透傾向が増大する。

F成分は、ガラスの液相温度を低下させ、耐失透性を向上させる効果があるが、上記金属元素の1種または2種以上の酸化物の一部または全部と置換した非化物のFとしての合計量が20%を超えると、ガラス熔融の際、F成分の揮発が多くなり均質なガラスを得難くなる。

つぎに、本発明にかかる B_2O_3 - La_2O_3 - Y_2O_3 - $R^{II}O$ - Li_2O 系の光学ガラスの実施組成例(No.1~No.40)とこれとほぼ同等の光学恒数を有する公知の B_2O_3 - La_2O_3 - $R^{II}O$ 系のガラスの比較組成例(No.1~No.VI)とを表-1に、またこれらのガラスの光学恒数(n_d 、 γ_d)、転移温度(T_g)および失透試験結果を表-2に示す。また、表-1に示した本発明の実施例No.17、No.21およびNo.25とこれらの実施例に近似しており B_2O_3 - La_2O_3 - $R^{II}O$ 系ガラスに Li_2O のみを添加した比較例No.A、No.BおよびNo.Cのガラスについて、それぞれ、失透試験結果を組成とともに表-3に示す。

表-2および表-3における失透試験結果は、

白金製の50ccボットにガラス試料80gを入れて、
電気が中で各ガラスの溶融性の難易度に応じ、
1100～1350℃の温度で2時間溶融した後、降温し
て、各試料を1000℃および950℃でそれぞれ2時
間保温した後、炉外に取り出して失透の有無を
顕微鏡により観察したもので、その結果、失透が
認められないガラスは○印で、また失透が認めら
れたガラスは×印で示した。

(以下余白)

表-1

(単位：重量%)

No	B ₂ O ₃	SiO ₂	La ₂ O ₃	Y ₂ O ₃	H ₂ O	CaO	SiO	BaO	ZnO	PbO	Li ₂ O	そ の 他 の 成 分			
1	30	21	11	6		12		14			1.7	Na ₂ O 2	K ₂ O 1.3	CaO 1	
2	47	3	10	2	8	11	18.8				2.2				
3	14	16	1	1		12	4.5	20	10		7.5	P ₂ O ₅ 10	Al ₂ O ₃ 4		
4	40	14	8	0.3	2	24					2.7	Al ₂ O ₃ 8			
5	23	26	15	2		6		20			8				
6	35				4	4	3	2			3	LaF ₃ 38	YF ₃ 10	(F=15.2)	
7	14	21	2	2		10	5	20	10		5	P ₂ O ₅ 7	Al ₂ O ₃ 4		
8	25	21	13	2		13	13				13				
9	24	22	10	8		12		14			10				
10	41		15	13							4	LaF ₃ 15	CeF ₃ 12	(F=10.2)	
11	35	15	15	3		15	11				6				
1	11.6	33.0	15.8					36.6				ZrO ₂ 3.0			
12	36	13	23	11		10			3		4				
13	25	22	9	3	2	2	14		8		3.5	TeO ₂ 11.5			
14	1	36	1	2		3	14	22	8	7	1.5	ZrO ₂ 4	As ₂ O ₃ 0.5		

特開昭60-221338(5)

(単位: 重量%)

No	B ₂ O ₃	SiO ₂	La ₂ O ₃	Y ₂ O ₃	HgO	CaO	SiO	BaO	ZnO	PbO	Li ₂ O	そ の 他 の 成 分
15	34		37	6					2		3	SrF ₂ 12 ZnF ₂ 4 KF 2 (F=5.6)
16	3	35	4	2			10	16	15	5	1.5	ZrO ₂ 5 Al ₂ O ₃ 2 Na ₂ O 1 As ₂ O ₃ 0.5
17	30	13	28	10		8		2	2		4	ZrO ₂ 1.3 As ₂ O ₃ 0.7
18	37	6	27	5.5		6		4	3		4	ZrO ₂ 3 Gd ₂ O ₃ 4.5
11	43.5	4.0	43.4			7.2						ZrO ₂ 1.8
19	9	27	14	6		3	10	20	2		3	ZrO ₂ 5 TiO ₂ 1
20	34	6	24.5	13		5.5					3	ZrO ₂ 4 Ge ₂ O ₃ 10
21	36	7	30	5		6		4	4		3	ZrO ₂ 5
22	30		30	8					5.8		1.2	HfO ₂ 11 CeO ₂ 14
23	33	8	22	16		12		2	2		3	ZrO ₂ 4
24	10	25	12	4	2	2	5	18	8	2	2	ZrO ₂ 5 Ta ₂ O ₅ 2 TiO ₂ 1.5 Al ₂ O ₃ 1 K ₂ O 0.5
25	17	18	25	7		8		13			2.2	ZrO ₂ 6 W ₂ O ₃ 3 Al ₂ O ₃ 0.8
26	34.5		30	15			4.3				2.2	ZrO ₂ 2.5 LaF ₃ 9 ZnF ₂ 2.5 (F=2.5)
III	31.0	9.5	45.0			4.5			3.0			ZrO ₂ 6.0 Ta ₂ O ₅ 1.8 As ₂ O ₃ 0.1
27	35	3	22	18		6					1.2	ZrO ₂ 7 Ta ₂ O ₅ 7.8

(単位: 重量%)

No	B ₂ O ₃	SiO ₂	La ₂ O ₃	Y ₂ O ₃	HgO	CaO	SiO	BaO	ZnO	PbO	Li ₂ O	そ の 他 の 成 分
28	8	24	11	2	2	3	2	20	2	13	2.5	ZrO ₂ 6 Ta ₂ O ₅ 1.5 TiO ₂ 1.4 Sb ₂ O ₃ 0.6
28	15	18	20	4.7		3	5	20			2.5	ZrO ₂ 6 Ta ₂ O ₅ 3 TiO ₂ 2.8
IV	15	20	25			8		20				ZrO ₂ 6 Ta ₂ O ₅ 2 TiO ₂ 4
30	2	30	2	1		7		20	2	27	2.5	ZrO ₂ 8 Sb ₂ O ₃ 0.5
31	30		16	4					35		2	Ta ₂ O ₅ 13
32	30	4	45	10			1		4.4		1.8	Nb ₂ O ₅ 4
33	30	3	44	9			1		4.9		2.1	Ta ₂ O ₅ 2 Nb ₂ O ₅ 4
V	10	20	26			3		30				TiO ₂ 4 Ta ₂ O ₅ 2
34	20	8.5	30	4				3	21		1.5	Ta ₂ O ₅ 8 Nb ₂ O ₅ 4
35	37		25	5					5.3		1.2	HfO ₂ 1.5 In ₂ O ₃ 15 Nb ₂ O ₅ 10
36	20	3	20	7					27.9		2.1	Ta ₂ O ₅ 20
37	30		40	2				4	2		1.1	ZrO ₂ 5.9 W ₂ O ₃ 2 Ta ₂ O ₅ 7 Nb ₂ O ₅ 6
38	20	5	33	1				4	20		1.2	ZrO ₂ 3.8 W ₂ O ₃ 8 Nb ₂ O ₅ 4
VI	27	3	41					5				ZrO ₂ 6 W ₂ O ₃ 5 Nb ₂ O ₅ 9 Ta ₂ O ₅ 4
39	30		35	3					5.2		1.3	ZrO ₂ 3.5 W ₂ O ₃ 5 Nb ₂ O ₅ 17
40	18	5.5	30	7					5	3.5	1.2	ZrO ₂ 5 W ₂ O ₃ 4 Nb ₂ O ₅ 13.8 Ta ₂ O ₅ 7

No	光字恒数		転移温度 T _g (°C)	失透試験結果 1000°C
	n_d	ν_d		
1	1.6220	58.8	565	○
2	1.6278	60.0	563	○
3	1.6302	55.7	444	○
4	1.6310	59.0	565	○
5	1.6309	57.4	504	○
6	1.6352	62.2	480	○
7	1.6342	56.2	495	○
8	1.6358	56.2	426	○
9	1.6395	56.4	462	○
10	1.6454	61.5	508	○
11	1.6450	58.8	523	○
1	1.650	55.0	683	○
12	1.6601	56.3	564	○
13	1.6656	53.2	552	○
14	1.6675	47.8	575	○

No	光字恒数		転移温度 T _g (°C)	失透試験結果 1000°C
	n_d	ν_d		
15	1.6723	57.8	483	○
16	1.6720	45.4	558	○
17	1.6868	54.7	558	○
18	1.6887	55.2	548	○
11	1.688	55.9	676	○
19	1.6914	48.8	567	○
20	1.6938	53.8	588	○
21	1.6953	54.5	567	○
22	1.7001	55.0		
23	1.7051	53.5	550	○
24	1.7038	45.6	554	○
25	1.7175	49.8	579	○
26	1.7287	56.7	565	○
111	1.7300	51.7	670	○
27	1.7336	49.7	633	○

No	光字恒数		転移温度 T _g (°C)	失透試験結果 1000°C
	n_d	ν_d		
28	1.7341	41.3	539	○
29	1.7355	45.7	580	○
IV	1.7333	45.5	685	○
30	1.7326	36.8	510	○
31	1.7438	45.4	513	○
32	1.7558	48.2		
33	1.7585	47.9	585	○
V	1.7635	40.6	680	○
34	1.7767	41.4	547	○
35	1.7820	35.5		
36	1.7831	42.5	512	○
37	1.8004	43.4	618	○
38	1.8052	40.2	545	○
VI	1.8064	40.7	670	○
39	1.8167	38.5	595	○
40	1.8450	35.3	588	

		No. 17	No. A	No. 21	No. B	No. 25	No. C
	B ₂ O ₃	30	30	36	36	17	17
	SiO ₂	13	13	7	7	18	18
	La ₂ O ₃	28	38	30	35	25	32
	Y ₂ O ₃	10		5		7	
	CaO	9	9	6	6	8	8
	BaO	2	2	4	4	13	13
	ZnO	2	2	4	4		
	Li ₂ O	4	4	3	3	2.2	2.2
	ZrO ₂	1.3	1.3	5	5	6	6
	VO ₃					3	3
	Al ₂ O ₃					0.8	0.8
	As ₂ O ₃	0.7	0.7				
	\bar{n}_d	1.6869	1.6899	1.6953	1.6968	1.7175	1.7196
	ν_d	54.7	54.5	54.5	54.4	49.8	49.7
失透試験 結果	1000℃	○	×	○	×	○	×
	850℃	○	×	○	×	○	×

表-2にみられるとおり、本発明の実施例のガラスは、所期の光学恒数と良好な耐失透性とを有し、しかも、 T_g が従来公知の比較例のガラスよりも低く、その改善効果が著しい。これに対し、比較例のガラスは、耐失透性が良好であるものの、 T_g の値が非常に高い。

なお、表-3は、本発明の実施例のガラスにみられるとおり、優れた耐失透性を維持しつつ低 T_g 化を図るため B₂O₃-La₂O₃-R^{II}O 系ガラスに Li₂O のみならず Y₂O₃ の2成分を共存させることが重要であることを示している。

本発明の上記実施例の光学ガラスは、いずれも、酸化物、炭酸塩、硝酸塩および弗化物等の原料を適宜選択混合して、これを約 1100 ~ 1350℃で溶融し、十分な攪拌と泡切れを行なった後、適当な温度に下げて、プレス成形または鋳込み成形することにより容易に製造することができる。

上述のとおり、本発明のガラスは、特定組成域の B₂O₃-La₂O₃-Y₂O₃-R^{II}O-Li₂O 系の組成であるため、屈折率 (\bar{n}_d) = 1.62 ~ 1.85、

アッベ数 (ν_d) = 35 ~ 65 の広範囲に及ぶ光学恒数と優れた耐失透性とを有し、しかも、従来のガラスと比較して T_g が著しく低く、そのうえ、原料経済性にも優れている。したがって、本発明のガラスは、大量生産が可能であるのみならず、プレス成形において、金型の寿命を飛躍的に向上させることができるので、きわめて有用である。

特許出願人 株式会社 小原光学硝子製造所